高梁川流域キッズ ◆ 仁科芳雄博士生家

【所在地】〒719-0303 岡山県浅口郡里庄町浜中717　【電話番号】0865-64-4888　【料金】無料
【開館時間】10:00～16:00【休館日】月曜日～土曜日、年末年始

日本の原子物理学の父「仁科芳雄博士」が過ごしたお屋敷

「日本の原子物理学の父」と呼ばれる里庄町出身の仁科芳雄博士が高等小学校を卒業するまで過ごした屋敷です。昭和53年に仁科芳雄博士の長兄の子孫から生家の土地屋敷を譲り受け、昭和57年11月に修復し、一般公開しました。江戸中期の庄屋建築の特徴がよく残されており、屋敷内には子どものころの習字や写真など数多くの資料が展示され、2階には当時の子ども部屋が今もなお残っております。窓から吹き抜ける心地よい風を感じながら、当時の仁科芳雄博士へ思いをはせることが出来ます。

◆ 施設のおすすめ

仁科芳雄博士の子ども部屋はもちろん、少年時代に身体を鍛えるために父と兄弟たちと冷水まさつを行った井戸や昔ながらの五右衛門風呂など、当時の暮らしを感じられるものがいくつも残っています。庭園には仁科芳雄博士も愛でた梅の老木もあり、春の訪れをきれいな花を咲かせて鮮やかに教えてくれます。また、仁科乙女とよばれる年2回花を咲かせる桜や、仁科蔵王という黄色い花を咲かせる桜も植樹されており、どちらも仁科芳雄博士が日本で初めて作った実験装置「サイクロトロン」を用いて品種改良されたのでまさに仁科芳雄博士にふさわしい桜とよべるのではないでしょうか。

◆ 子どもたちへのメッセージ

仁科芳雄博士生家は、江戸中期に建てられた由緒正しきお屋敷です。仁科芳雄博士が幼少時代に過ごした子ども部屋は、風も通る居心地のよい空間なのでぜひ時間を忘れてゆったりと見に来てください。